

島根県の経済動向

平成22年10月28日

政策企画局統計調査課

平成22年8月分

先月からの主要変更点

| | 8月分 | 7月分 |
|------|---|--|
| 総括判断 | <p>本県経済は、<u>持ち直しの動きがみられる一方で弱い動きもあり、全体としては横ばい傾向にある。</u></p> <p>生産活動は<u>横ばい圏内ながらやや弱い動き</u>となっている。雇用情勢は<u>厳しい状況のなか持ち直しの動き</u>が続き、個人消費は一部に<u>持ち直しの動き</u>が続いている。投資動向は<u>下げ止まりの兆し</u>がみられる。</p> | <p>本県経済は、全体としては<u>厳しい状況が続いているが、一部で持ち直しつつある。</u></p> <p>生産活動は<u>持ち直しの動きが鈍化</u>しているが、個人消費は一部に<u>持ち直しの動き</u>が続き、雇用情勢は<u>厳しい状況のなか持ち直しの動き</u>が続いている。投資動向は<u>基調としては弱い動き</u>が続いている。</p> |
| 個別項目 | 生産活動 「 <u>横ばい圏内ながらやや弱い動き</u> 」 投資動向 「 <u>下げ止まりの兆し</u> 」 | 生産活動 「 <u>持ち直しの動きが鈍化</u> 」 投資動向 「 <u>基調としては弱い動き</u> 」 |

(注) 下線部は、先月から変更した部分。

島根県の経済動向

平成22年10月28日
政策企画局統計調査課

平成22年8月分

一本県経済は、持ち直しの動きがみられる一方で弱い動きもあり、
全体としては横ばい傾向にある。一

生産活動は横ばい圏内ながらやや弱い動きとなっている。雇用情勢は厳しい状況のなか持ち直しの動きが続き、個人消費は一部に持ち直しの動きが続いている。投資動向は下げ止まりの兆しがみられる。

| | | | |
|---------|----------------------------------|-------------------|---|
| 生産活動 | ⇒ | ～横ばい圏内ながらやや弱い動き～ | 鉱工業生産指数(季節調整済指数)は92.3となり、前年同月比は18.2%と10か月連続で前年を上回った。また、大口電力需要実績も17.3%と9か月連続で前年を上回った。しかし、いずれも前年同月との差は縮小傾向が続き、生産活動は、横ばい圏内ながらやや弱い動きとなっている。 |
| 雇用情勢 | ⇒ | ～厳しい状況のなか持ち直しの動き～ | 有効求人倍率は0.70倍とわずかながら上昇し、新規求人数は23.4%と2か月振りに前年を上回った。所得面では、現金給与総額は2か月振りに前年を上回り、きまって支給する給与は10か月連続で、所定外労働時間(製造業)は9か月連続で前年を上回った。雇用情勢は、厳しい状況のなか持ち直しの動きが続いている。 |
| 個人消費 | ⇒ | ～一部に持ち直しの動き～ | 大型小売店販売額は▲2.2%と20か月連続で前年を下回ったが、家電量販店販売額は25.1%と2か月連続でプラスとなり、乗用車新車登録台数も40.2%と13か月連続で前年を上回った。天候要因も相まって、個人消費は一部に持ち直しの動きが続いている。 |
| 投資動向 | ⇒ | ～下げ止まりの兆し～ | 建築着工床面積(非居住用)は52.5%と3か月連続で、公共工事請負金額は7.9%と4か月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数も21.3%と2か月連続で前年を上回るなど、投資動向は、下げ止まりの兆しがみられる。 |
| 企業倒産 | ⇒ | ～倒産件数3件～ | 企業倒産件数は3件。うち建設業は3件、製造業は0件。 |
| 金融情勢 | ⇒ | ～貸出金残高は対前年0.5%減～ | 銀行預金残高は26か月連続で前年を上回った。銀行貸出金残高は4か月連続で前年を下回った。 |
| 物 価 | ⇒ | ～対前年0.6%下落～ | 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は99.9と変わらず、対前年同月比▲0.6%と18か月連続の下落となった。 |
| その他(参考) | 島根県景気動向指数(CI) (平成22年10月28日公表) | | CI先行指数は92.6となり、2か月振りの下降となった。 CI一致指数は100.4となり、2か月連続の下降となった。 |
| | 法人企業景気予測調査結果 (平成22年9月9日公表) | | 財務省松江財務事務所の景況判断BSIは、現状(22年7～9月期)は10.4ポイントと「上昇」超に転じている。 先行きについては、翌期(10～12月期)に「下降」超に転じ、翌々期(23年1～3月期)も「下降」超で推移する見通しとなっている。 |

| 経済指標 | 前年同月比(*を除く)% | | | | | | |
|------|----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | |
| 生産活動 | * 鉱工業生産指数(季節調整済指数) | 96.3 | 95.3 | 100.5 | 98.3 | 94.1 | 92.3 |
| | 〃 (原指数) | 41.8 | 29.3 | 32.7 | 29.4 | 15.1 | 18.2 |
| | 大口電力需要実績 | 46.2 | 23.8 | 26.7 | 23.2 | 21.0 | 17.3 |
| 雇用情勢 | * 有効求人倍率(倍) | 0.65 | 0.65 | 0.63 | 0.68 | 0.66 | 0.70 |
| | 新規求人数 | 11.3 | ▲1.6 | 4.0 | 4.2 | ▲9.0 | 23.4 |
| | 常用労働者数 | 0.8 | 0.7 | 1.1 | 0.7 | 0.1 | 0.6 |
| | 現金給与総額 | 5.0 | 4.7 | 6.8 | 9.5 | ▲5.5 | 3.4 |
| | きまって支給する給与 | 4.0 | 4.2 | 3.4 | 2.9 | 3.2 | 3.7 |
| | 所定外労働時間(製造業) | 117.0 | 78.8 | 55.8 | 62.6 | 43.1 | 33.0 |
| 個人消費 | 大型小売店販売額 | ▲4.1 | ▲2.6 | ▲2.1 | ▲2.1 | ▲2.3 | ▲2.2 |
| | ホームセンター販売額 | ▲6.6 | ▲5.7 | ▲4.5 | ▲1.5 | 7.4 | ▲3.3 |
| | 家電量販店販売額 | 15.0 | 10.0 | ▲3.4 | ▲2.6 | 9.9 | 25.1 |
| | 乗用車新車登録台数 | 13.1 | 20.6 | 27.8 | 11.1 | 10.1 | 40.2 |
| | 出雲空港利用者数 | ▲6.0 | 4.7 | 3.8 | 2.9 | ▲2.3 | 8.0 |
| 投資動向 | 建築着工床面積(非居住用) | ▲58.6 | 140.0 | ▲70.1 | 241.9 | 76.4 | 52.5 |
| | 公共工事請負金額 | ▲49.2 | ▲20.1 | 5.8 | 49.3 | 75.6 | 7.9 |
| | 新設住宅着工戸数 | ▲59.5 | 74.8 | ▲28.1 | ▲26.0 | 30.1 | 21.3 |
| 企業倒産 | * 企業倒産件数(件) | 6 | 4 | 5 | 5 | 5 | 3 |
| | * 負債総額(百万円) | 446 | 2,429 | 858 | 707 | 551 | 296 |
| 金融情勢 | 銀行預金残高 | 5.3 | 3.6 | 4.6 | 5.1 | 5.2 | 3.7 |
| | 銀行貸出金残高 | 1.2 | 0.6 | ▲0.0 | ▲0.2 | ▲1.0 | ▲0.5 |
| 物 価 | * 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) | 100.4 | 100.1 | 100.3 | 100.2 | 99.9 | 99.9 |
| その他 | * 景気動向指数(CI先行指数) | 119.4 | 122.5 | 108.6 | 99.0 | 99.4 | 92.6 |
| | * 景気動向指数(CI一致指数) | 96.8 | 99.1 | 109.6 | 111.5 | 102.7 | 100.4 |

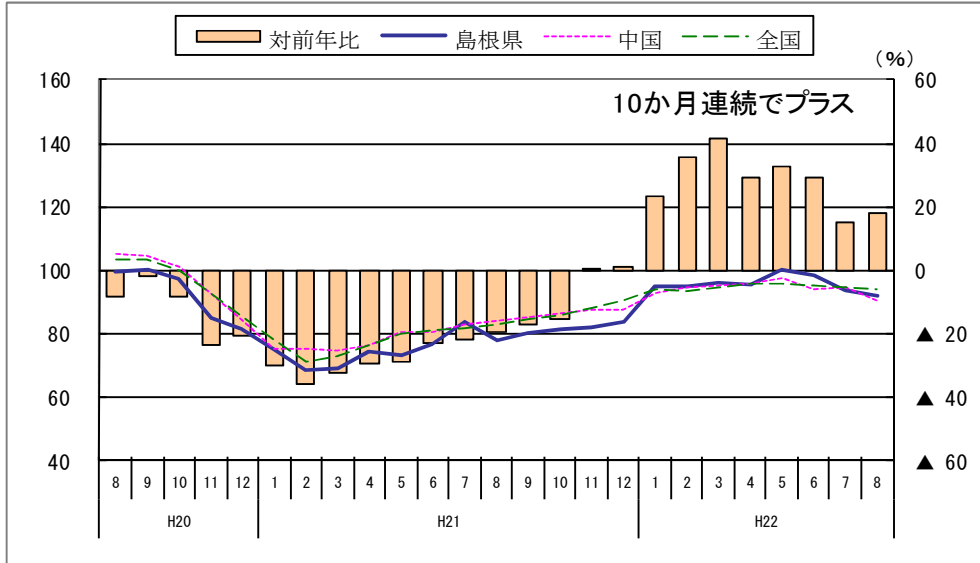
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

| | |
|------------------|---|
| 全 国 | <p>「月例経済報告（内閣府）」 平成22年10月19日</p> <p>景気は、このところ足踏み状態となっている。また、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出は、このところ弱含んでいる。生産は、弱含んでいる。 ・ 企業収益は、改善している。設備投資は、持ち直している。 ・ 企業の業況判断は、改善している。ただし、先行きについては慎重な見方が広がっている。 ・ 雇用情勢は、依然として厳しいものの、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・ 個人消費は、持ち直している。 ・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。 <p>先行きについては、当面は弱めの動きも見込まれるものの、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に、景気が持ち直していくことが期待される。一方、海外景気の下振れ懸念や為替レート・株価の変動などにより、景気がさらに下押しされるリスクが存在する。また、デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。</p> |
| | <p>「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成22年10月18日</p> <p>中国地域の景気は、雇用は厳しい状況ながら持ち直しの動き、設備投資や個人消費は持ち直し基調で推移しているものの、生産は横ばいながらも一部に弱い動き、景況感は停滞がみられるなど、総じてみると、横ばいの動きとなっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産動向…横ばいながらも一部に弱い動き 2. 景況感…このところ停滞している 3. 産業用電力需要…緩やかな持ち直し 4. 物価…消費者物価指数は下落傾向 5. 個人消費…緩やかながら持ち直しの動き 6. 設備投資…持ち直しの兆し 7. 建設動向…公共工事、住宅建設ともに増加 8. 雇用動向…厳しい状況ながら持ち直しの動き 9. 企業倒産…減少傾向 10. 貿易…緩やかながら持ち直しの動き |
| 山 陰 地 方 | <p>「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2010年9月29日</p> <p>山陰両県の景気は、緩やかに回復しつつある。すなわち、個人消費は、緩やかに持ち直しており、住宅投資も持家を中心に下げ止まりの動きがみられる。また、設備投資が持ち直しつつあるほか、公共投資はほぼ前年並みとなっている。雇用・所得情勢は、厳しさが幾分和らいできている。この間、生産は、高い水準ながら頭打ちとなっている。こうした中、企業の業況感、足もと改善したが、先行きは慎重な見方となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産は、高い水準ながら足もと頭打ちとなっている。 ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。 ・ 設備投資は、持ち直しつつある。 ・ 公共投資は、ほぼ前年並みとなっている。 ・ 住宅投資は、持家を中心に下げ止まりの動きがみられる。 ・ 雇用・所得情勢は、引き続き厳しい状況にあるが、その厳しさは幾分和らいできている。 |
| | <p>「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2010年9月29日</p> <p>当地の景気は、公共投資は足元増加し、設備投資は底打ちの兆しがうかがえる。一方、生産は持ち直しの動きが鈍化傾向にあり、住宅建設や雇用情勢などで厳しい状況が続くことから、総じて横ばい圏内の動きとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資は、足元では増加傾向となっている。 ・ 設備投資は、全産業では前年度ほぼ横ばいの計画（企業動向調査9月）。 ・ 住宅建設は、水準は低く、依然低調に推移している。 ・ 個人消費は、低調な推移ながら、一部に持ち直しの動きがみられるものの、先行きは不透明感が増している。 ・ 生産は、緩やかに持ち直しているものの、その動きは鈍化傾向にある。 ・ 雇用情勢は、総じて厳しい状況が続いている。 ・ 企業の業況判断は、足元（10年度上期）、非製造業ではほぼ横ばいだったものの、製造業ではプラス幅が縮小し、全産業ではわずかながら悪化（▲14.2→▲14.9）。先行き（10年度下期）については、製造業、非製造業ともに悪化を予想しており、全産業でも悪化（▲14.9→▲17.7）の見通し（企業動向調査9月）。 |
| 島 根 県 | <p>「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 平成22年7月26日（四半期ごとに公表）</p> <p>県内経済は、厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は厳しい状況が続いているものの、個人消費で緩やかな持ち直しの動きがみられ、生産活動も持ち直している。また、設備投資は増加見通しとなっているほか、企業収益も増益見通しとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 緩やかな持ち直しの動きがみられる ・ 生産活動 持ち直している ・ 雇用情勢 厳しい状況が続いている ・ 公共事業 前年度を上回っている ・ 設備投資 22年度は増加見通し ・ 企業収益 22年度は増益見通し |

経済指標の推移

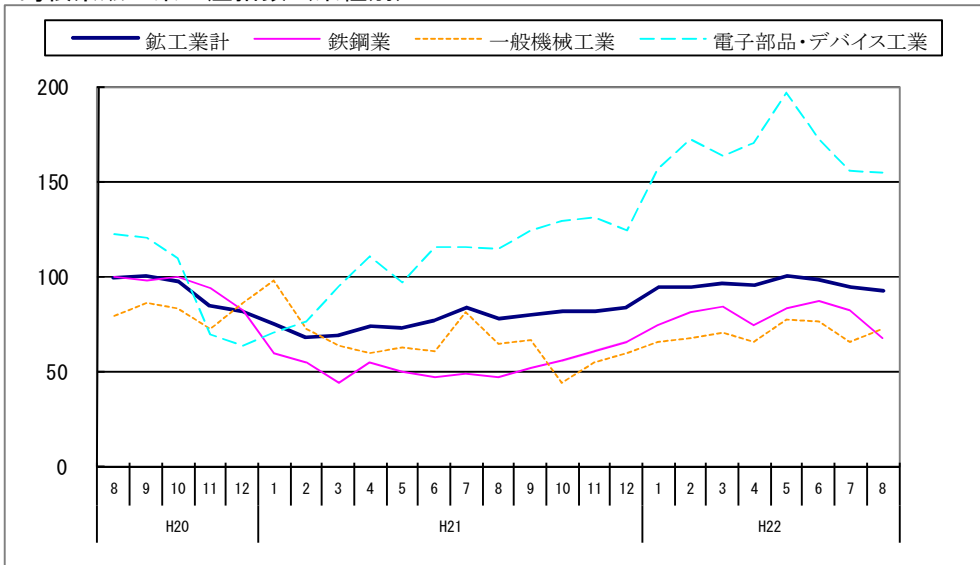
【生産活動】 ～横ばい圏内ながらやや弱い動き～

鉱工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



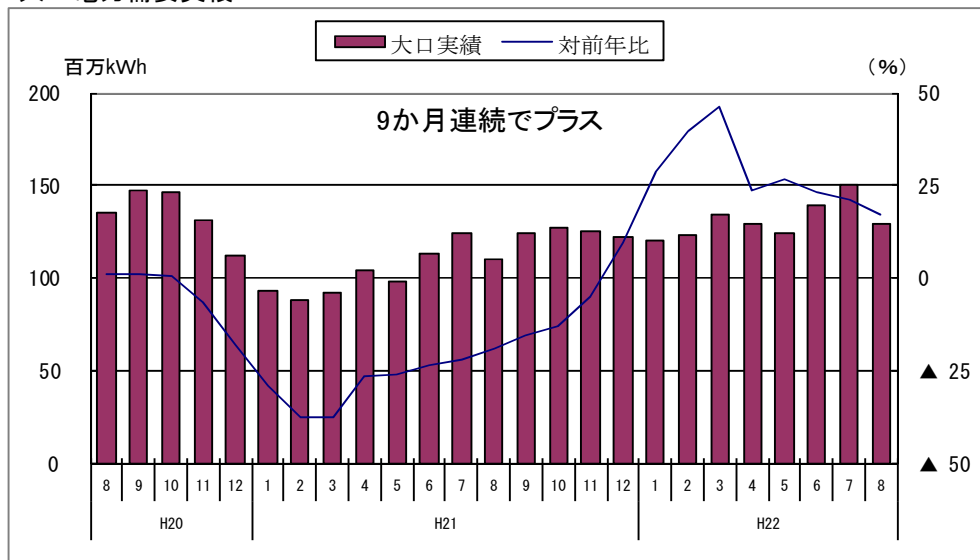
（注）対前年比は、島根県の前指数 （県統計調査課、経済産業省）

島根県鉱工業生産指数（業種別）



（県統計調査課）

大口電力需要実績

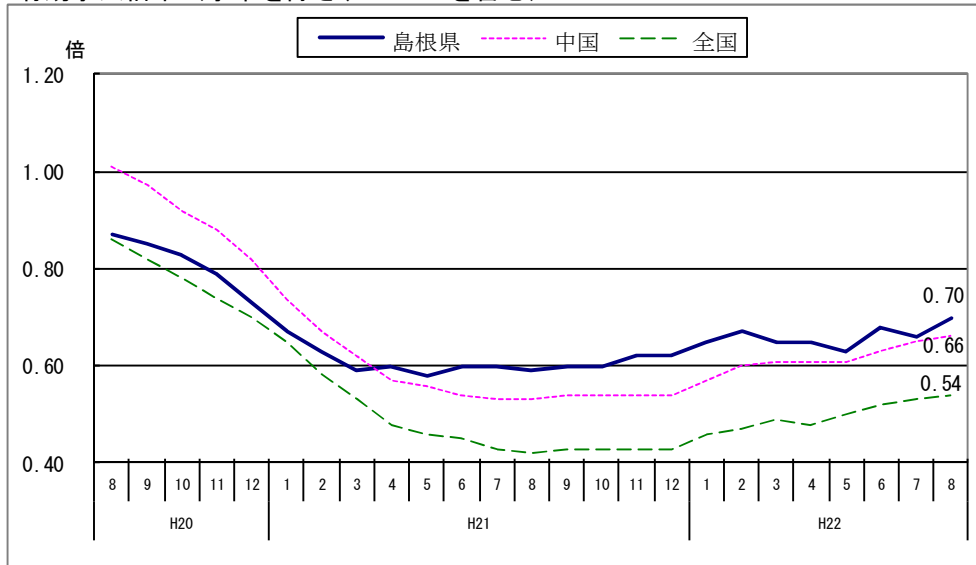


（中国電力株）

【雇用情勢】

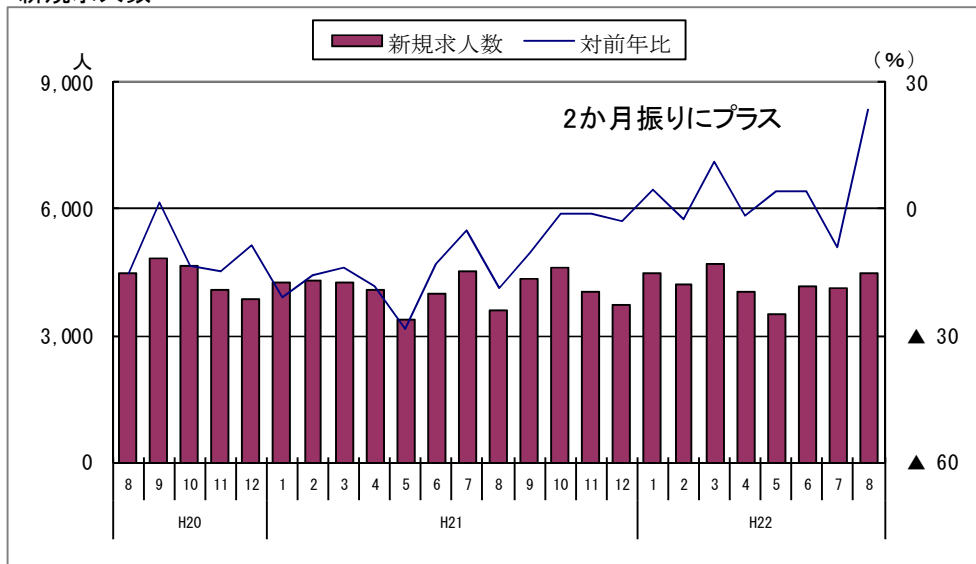
～厳しい状況のなか持ち直しの動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



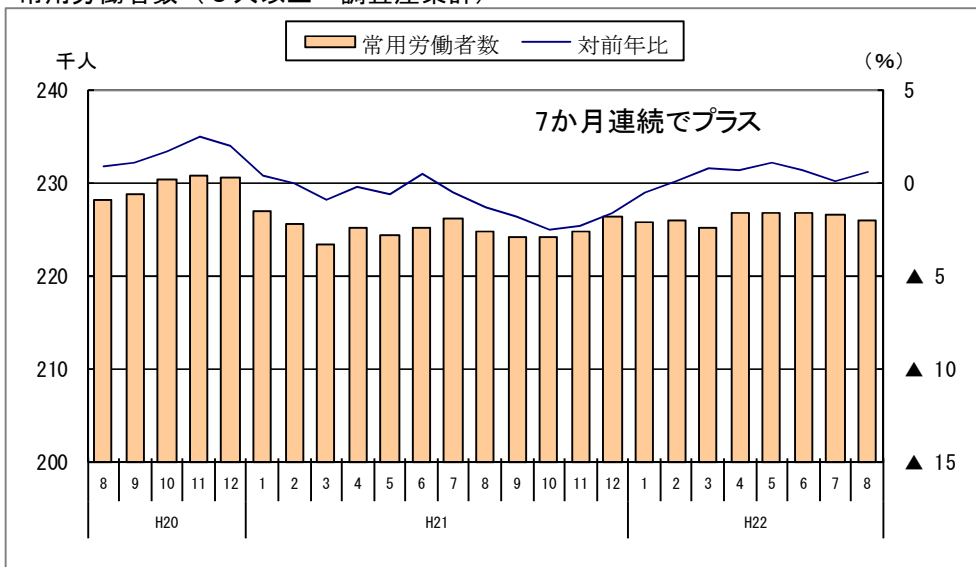
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

常用労働者数（5人以上・調査産業計）

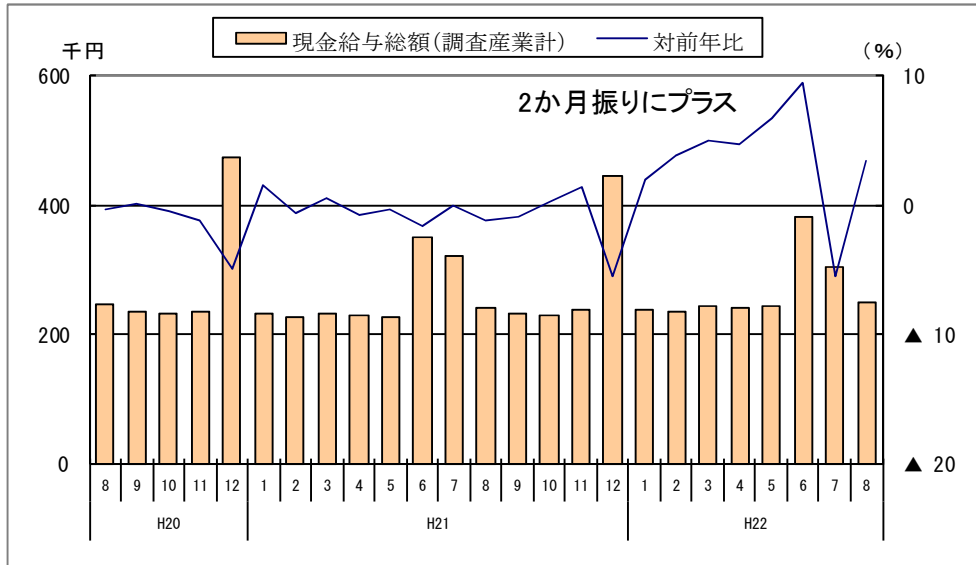


(県統計調査課)

【雇用情勢】

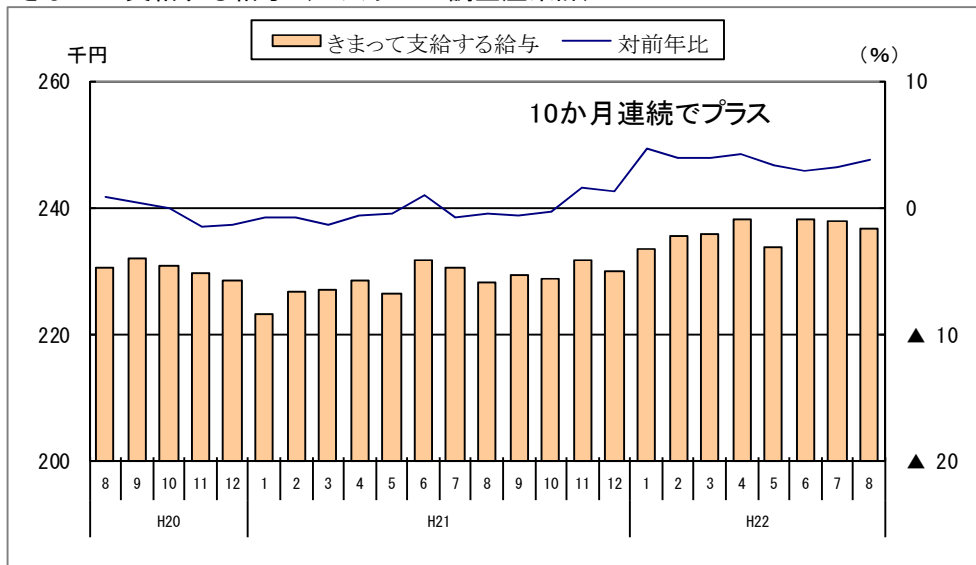
～厳しい状況のなか持ち直しの動き～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



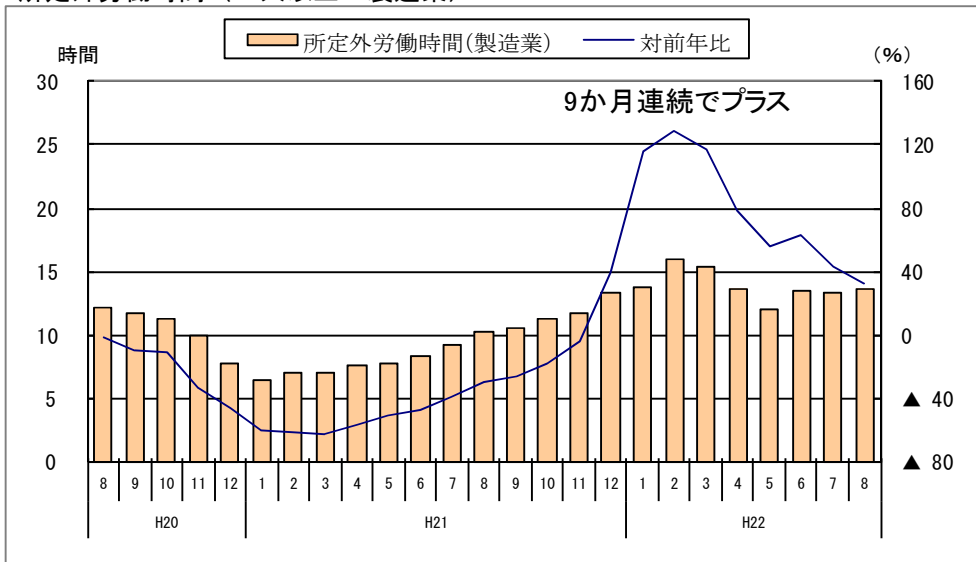
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

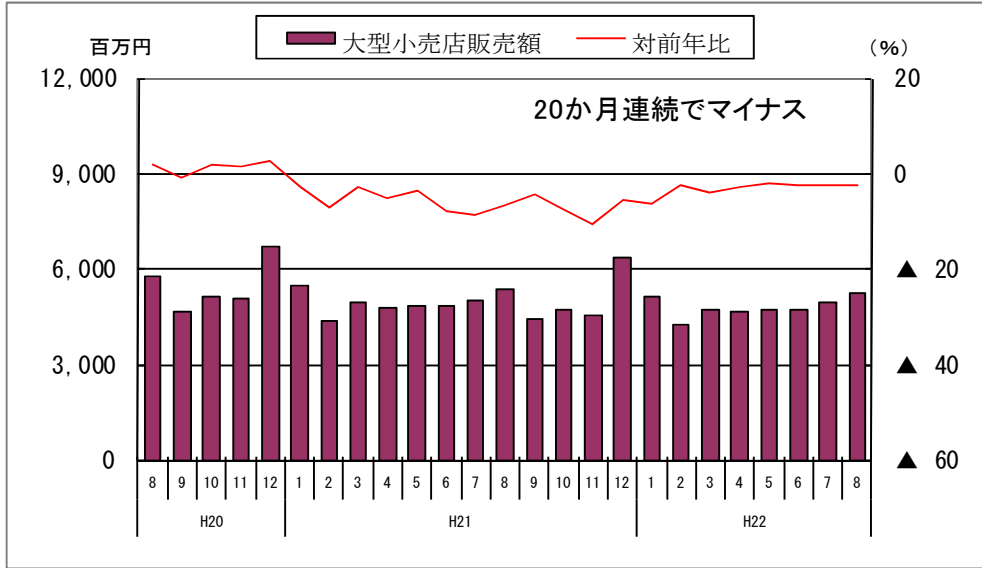
所定外労働時間（5人以上・製造業）



(県統計調査課)

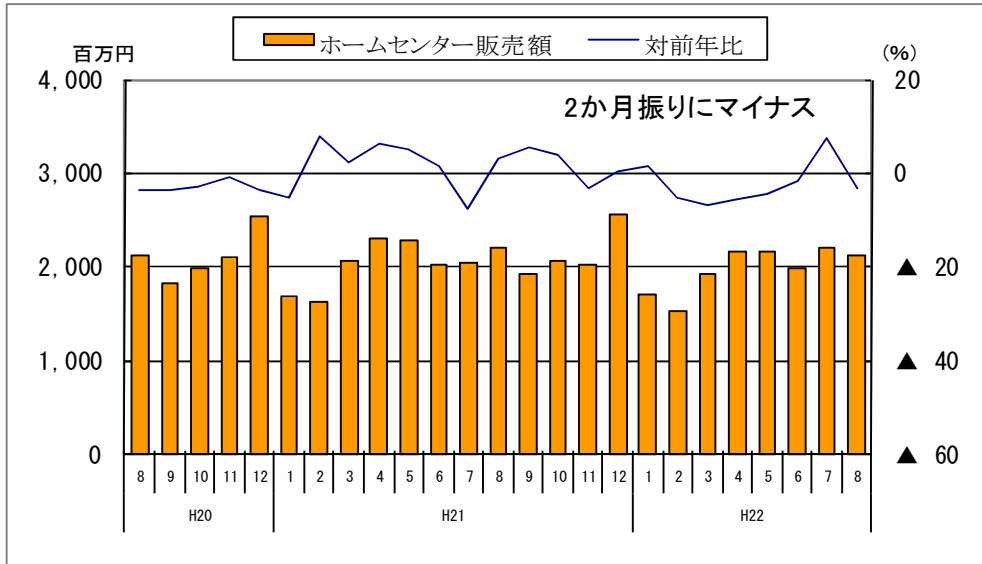
【 個人消費 】 ～一部に持ち直しの動き～

大型小売店販売額



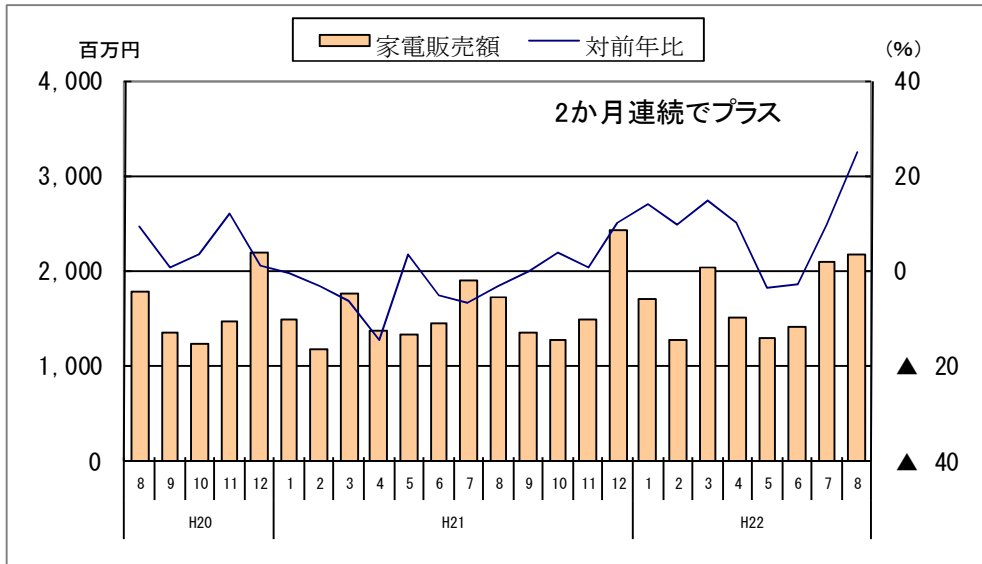
(中国経済産業局)

ホームセンター販売額



(中国経済産業局)

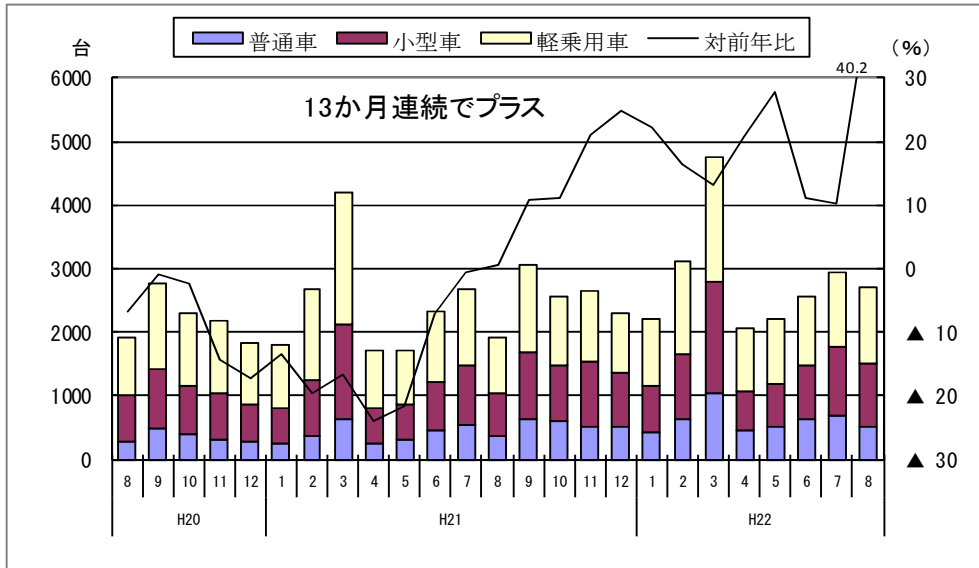
家電量販店販売額



(中国経済産業局)

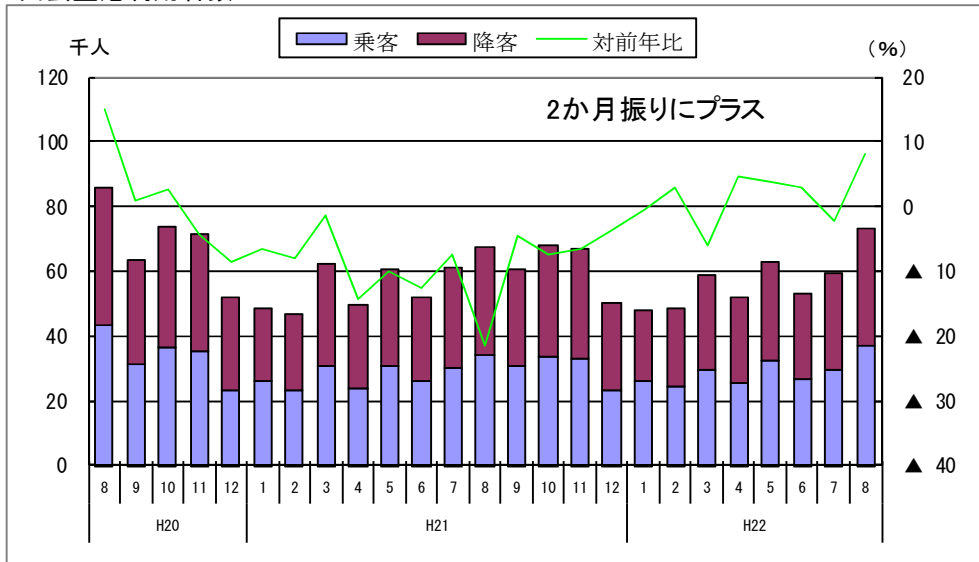
【 個人消費 】 ～一部に持ち直しの動き～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

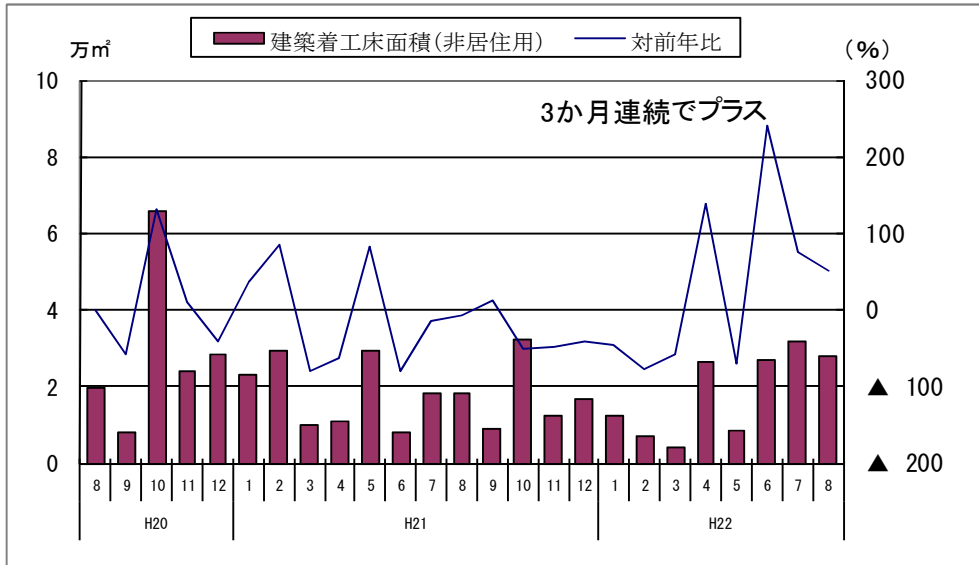
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

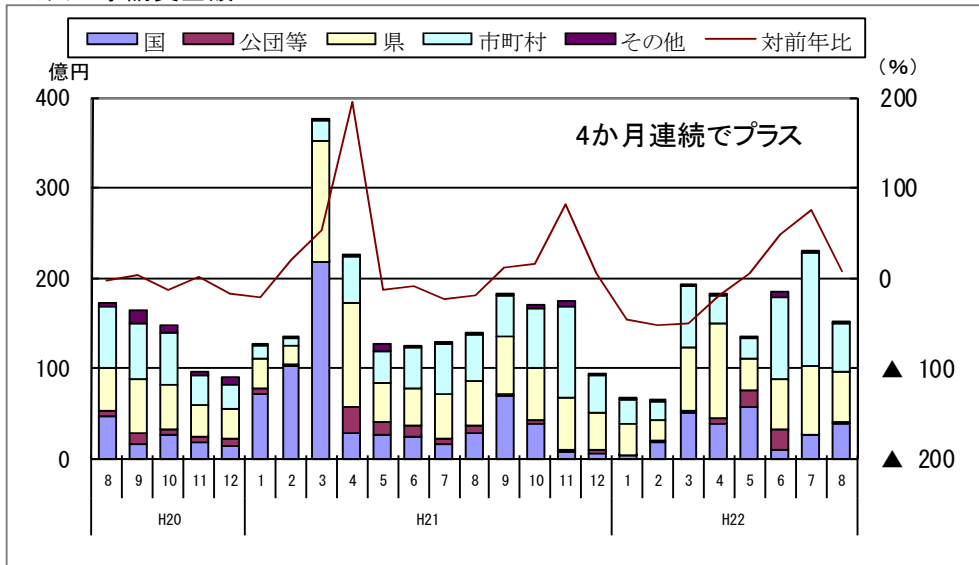
【 投資動向 】 ～下げ止まりの兆し～

建築着工床面積（非居住用）



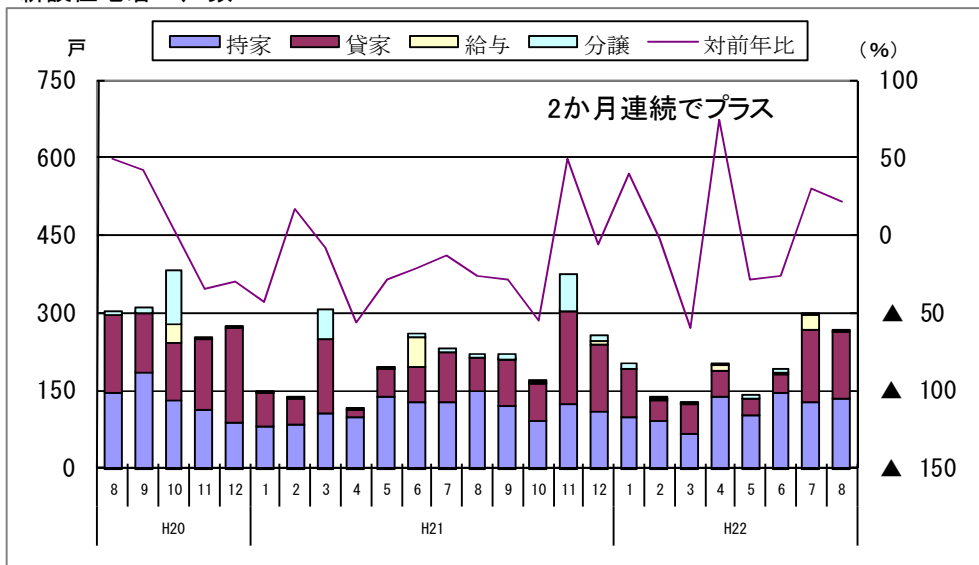
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証㈱)

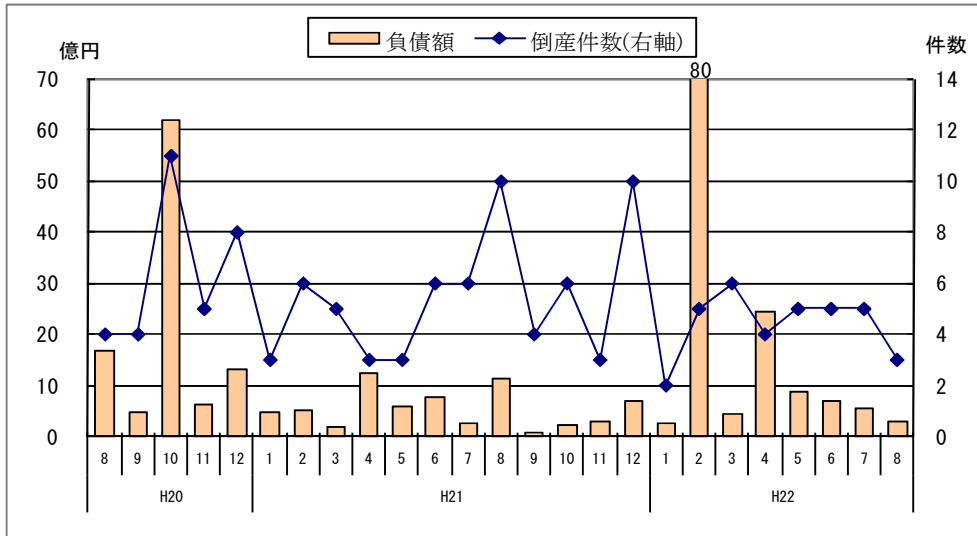
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数3件～

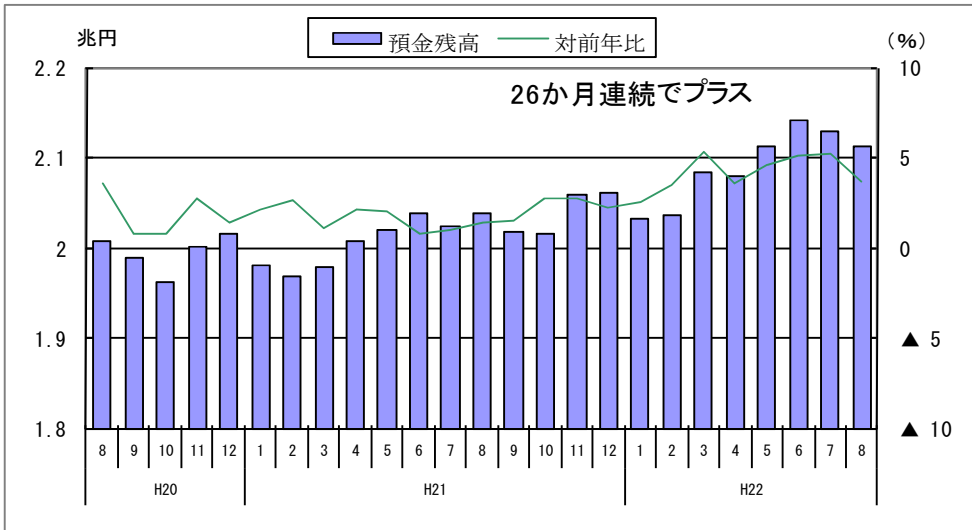
企業倒産件数、負債総額



(株東京商工リサーチ)

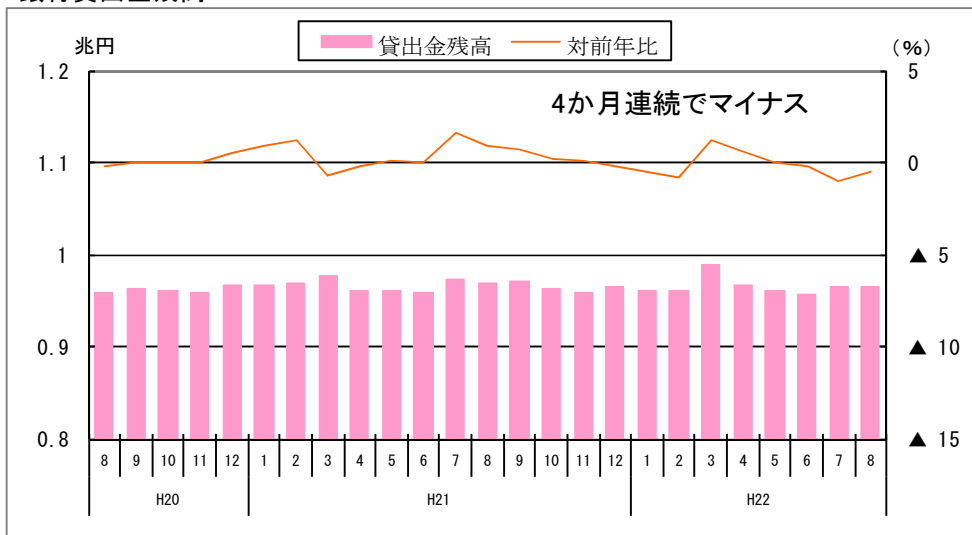
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年0.5%減～

銀行預金残高



(日本銀行)

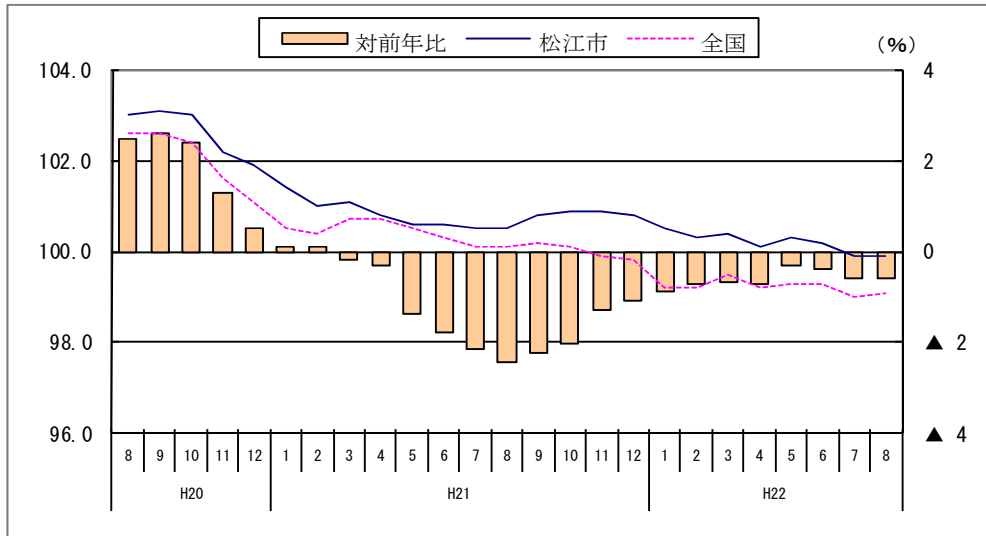
銀行貸出金残高



(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.6%下落～

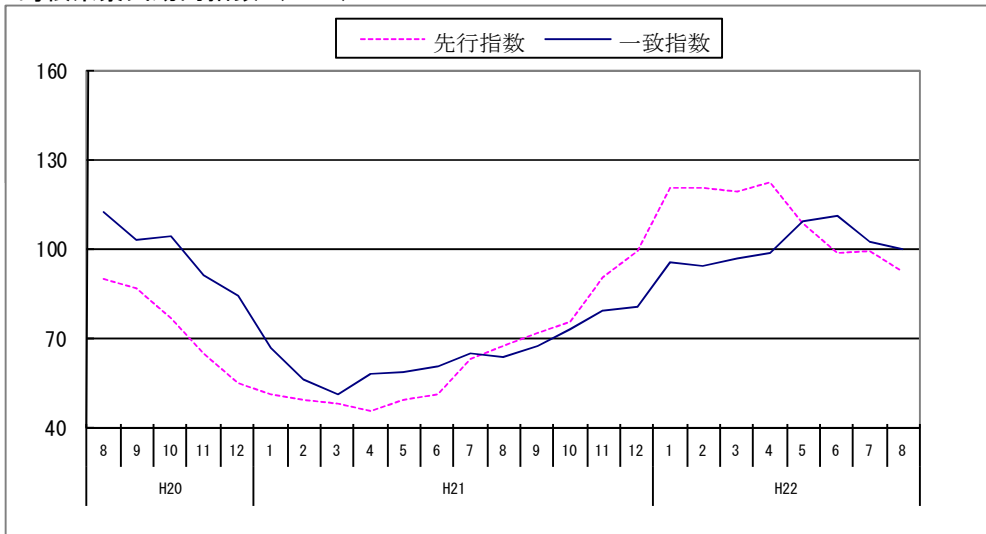
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） H17=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果 (平成22年9月9日 財務省松江財務事務所)
平成22年 7～9 月期調査

景況判断BSI

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

(%ポイント)

| 区 分 | 22年4～6月 前回調査 | 22年 7～9月 今回調査 | 22年10～12月 見 通 し | 23年1～3月 見 通 し |
|-------|-----------------|------------------|--------------------|------------------|
| 全 産 業 | ▲ 8.6 | (1.0) 10.4 | (2.9) ▲ 4.7 | ▲ 14.2 |
| 製 造 業 | ▲ 2.9 | (26.5) 47.1 | (23.5) 14.7 | ▲ 2.9 |
| 非製造業 | ▲ 11.3 | (▲11.3) ▲ 6.9 | (▲7.0) ▲ 13.9 | ▲ 19.4 |
| 大 企 業 | ▲ 12.5 | (0.0) 0.0 | (12.5) ▲ 25.0 | ▲ 12.5 |
| 中堅企業 | 8.1 | (5.4) 0.0 | (5.4) ▲ 2.7 | ▲ 21.6 |
| 中小企業 | ▲ 18.3 | (▲1.7) 18.0 | (0.0) ▲ 3.3 | ▲ 9.8 |

※ () 書きは、前回 (22年4～6月期) 調査時の見通し。